

令和	6	年度	人	材	育	成	事	業
受	講	生	募	集	の	ご	案	内

東京都認定職業訓練

鍛造マネージャー育成塾コース

普通職業訓練(短期課程)鍛工品製造業科…………… P.1～P.4

鍛工品製造業実践型人材養成コース

普通職業訓練(短期課程)鍛工品製造業科…………… P.5～P.6

鍛造技術通信講座

技能士コース普通職業訓練(短期課程)鍛造科……………P.7～P.8

鍛造技術通信講座

普通コース……………P.9

鍛造マネージャー育成塾コース

普通職業訓練

(短期課程)

鍛工品製造業科

鍛造マネージャー育成塾コースでは下記のスキルを習得することを目的とし、座学、実証実験、プレゼンテーションを盛り込んだカリキュラムとしています。また、本コースは、岐阜大学と産学連携事業であり、13科目のうち3科目を岐阜大学大学院の特論学生として大学院生と一緒に受講いただきます。

- ① 理論・原理・原則を関連づけて理解する力。
- ② 現場の問題及び課題を解決する力。
- ③ 工場経営に必要なマネジメントにかかる知識を修得し、ユーザー等に対して製品の技術、品質、信頼性が説明でき、且つ提案のできる力。

受講資格	企業に属している方で実務経験5年以上、且つ国家検定「技能検定鍛造職種」有資格者、又はそれと同等の鍛造に関する知識を有する方		
定員	20名 (最少開講人数 15名)		
受講期間	令和6年4月から令和7年3月まで(1泊2日で13回、計143時間の講義)		
受講費用	当協会会員	374,000円(税込)/名	
	非会員	484,000円(税込)/名	
	日本塑性加工学会会員	404,800円(税込)/名	
	注1) 講義会場までの交通費、宿泊費、食事などは各自負担です。実証実験科目において加工費等実費を請求する場合があります。		
	注2) 「鍛工品製造業実践型人材養成コース」の修了者は上記料金を10%割引させていただきます。		
	注3) 受講途中で退校されても、返金いたしかねますのでご了承ください。		
修了証書	本講義を修了された方に対し「鍛造マネージャー育成塾コース修了証書」を発行します。		
修了要件	講義日数26日中、20日以上出席すること。		

※受講申込ご案内は10頁をご覧ください。

❖ 鍛造マネージャー育成塾コース日程 (予定)

開催日	内容	開催場所	予定講師(敬称略)
4月18日(木) 4月19日(金)	科目1 鍛造概論 ・鍛造技術の概要 ・鍛造方法と鍛造品 ・自動車会社における鍛造 ・プレゼンテーション	ウインクあいち 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38 トヨタ自動車株式会社本社工場 愛知県豊田市トヨタ町1番地 名古屋工業大学 愛知県名古屋市長区御器所町	*吉田佳典 石川孝司 北村憲彦 加納秀治
5月20日(月) 5月21日(火)	科目2 鍛造品とその評価 ・鍛造品の適用機能の性能 ・鍛造品の設計と重要性 ・鍛造と品質管理 ・部品の軽量化への取り組み(アルミ・チタンの鍛造品への適用) ・鍛造線と強度・タフネスの確認実験	千葉県高度ポリテクセンター 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2	*菟田保司 吉川亮治
6月20日(木) 6月21日(金)	科目3 鍛造用材料と熱処理 ・塑性変形(変形機構、変形抵抗、延性) ・鍛造用材料 ・熱処理の基礎技術 ・実験(変形抵抗測定、鍛造性評価試験) ・実験結果の整理と結果発表(プレゼン)	岐阜市文化センター 岐阜県岐阜市金町5丁目7-2 岐阜大学 岐阜県岐阜市柳戸1-1	*吉田佳典 山下 実 岡島琢磨
7月4日(木) 7月5日(金)	科目4 加工力と面圧 ・加工力と面圧 ・応力と降伏条件 ・ひずみ・塑性仕事・硬さ ・コンピューターシミュレーションの基礎入門 ・鍛造荷重の実験と計算との比較・硬さ分布測定、データ整理 ・結果のまとめとプレゼンテーション	岐阜市文化センター 岐阜県岐阜市金町5丁目7-2 岐阜大学 岐阜県岐阜市柳戸1-1	*吉田佳典 西脇武志 山下 実

❖ 鍛造マネージャー育成塾コース日程（予定）

開催日	内容	開催場所	予定講師（敬称略）
7月30日(火) 7月31日(水)	科目5 工具と潤滑 ・鍛造における摩擦・潤滑・摩耗のメカニズムⅠ ・鍛造における摩擦・潤滑・摩耗のメカニズムⅡ ・熱間鍛造用の金型材料・表面処理・金型製造法 ・熱間及び冷間鍛造用潤滑剤 ・プレゼンテーション ・摩擦試験実習	名古屋工業大学 名古屋市昭和区御器所町	*北村憲彦 阿部行雄 宇田紘助 小見山 忍 中村 保
8月下旬	科目6 鍛造設備 ・鍛造加工における周辺装置 ・鍛造機械（ハンマ・プレス・油圧プレス・フォーマ・冷鍛用プレス） ・これからの鍛造加工	未定	*竹内 肇 山下拓郎 大西健晴 加藤大地 松枝隆章 森 孝信
9月26日(木) 9月27日(金)	科目7 熱間鍛造品の工程設計 ・材料から検査までの工程設計 ・鍛造の工程設計 ・荒地設計 ・実証実験の荒地設計	すみだ産業会館（予定） 東京都墨田区江東橋3丁目9番10号	*結城和久 大橋隆弘 菰田保司
10月24日(木) 10月25日(金)	科目8 鍛造及びCAE実習 ・実証実験の整理、対策案検討、DEFORMによる確認 ・CAD/CAMの概要とコンピューターシミュレーション事例研究 ・鍛造デジタルエンジニアリングー鍛造版Industrie 4.0とは？ー ・対策案の検証	株式会社 ヤマナカゴーキン 千葉県佐倉市大作2-11-2	*金 秀英 藤川真一郎
11月14日(木) 11月15日(金)	科目9 精密鍛造と金型生産 ・鍛造用金型の表面処理 ・精密鍛造金型の生産 ・精密鍛造の工程設計・金型設計・特殊設計 ・冷間鍛造における金型寿命 ・プレゼンテーション	JA京都ビル（予定） 京都市南区東九条西山王町1 株式会社ニチダイ 京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14 京都駅よりバス移動	*近藤靖之 青松明宏 角南不二夫
1月23日(木) 1月24日(金)	科目8 実証実験の検証 科目10 設備保全技術 ・現場設備の確認 ・機械要素部品分解(空気圧装置) ・汎用工具専用工具の選択方法 ・危険予知	千葉県高度ポリテクセンター 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2	科目7, 8 金 秀英 結城和久 科目10 *竹野俊夫
12月10日(火) 12月11日(水)	科目11 品質管理 ・TQM ・演習(品質保証活動について) ・問題解決 ・開発・量産試作・量産の品質管理 ・演習(問題の発見) ・SQC ・演習(工程の管理)	すみだ産業会館（予定） 東京都墨田区江東橋3丁目9番10号	*岡本真一 内田 治 奥原正夫
2月中旬	科目12 工場管理 ・工場管理 ・トヨタ生産方式(TPS)と改善の進め方 ・安全管理	未定	*竹内 肇 首藤彰彦 松本将生
3月13日(木) 3月14日(金)	科目13 工場経営とマーケティング ・経営に対する考え方 ・業務改革の姿の描き方 修了式・懇親会	すみだ産業会館（予定） 東京都墨田区江東橋3丁目9番10号	*青木宣隆 渡辺郁雄

※講義時間原則、1日目10:30～18:00 2日目 9:00～16:00

*科目長

※科目によって現場学習が設定される場合がありますが、受入先の都合によりお断りする場合があります。

◆ 講師名簿

氏名	会社名・学校名・団体名	所属・役職
青木 隆 宜	株式会社ISS山崎機械	常務取締役工場長
青松 明 宏	ユケン工業株式会社	技術部 TL技術課
阿部 行 雄	株式会社プロテリアル	特殊鋼事業部 工具鋼部 技術グループ
宇田 紘 助	大同化学工業株式会社	技術研究所 第3研究室 熱鍛G
石川 孝 司	名古屋大学	名誉教授
内田 治	東京情報大学	総合情報学部 非常勤講師
大西 健 晴	住友重機械工業株式会社	産業機器事業部 プレス統括部 カスタマーサポート部 プレスG GL
大橋 隆 弘	国土館大学	理工学部 教授
岡本 眞 一	東京情報大学	総合情報学部 名誉教授
奥原 正 夫	一般社団法人日本科学技術連盟	品質経営推進センター 技術顧問
加藤 大 地	旭サナック株式会社	技術開発本部 技術管理室 専任課長
北村 憲 彦	名古屋工業大学	つくり領域 教授
金 秀 英	株式会社ヤマナカコーキン	技術企画担当 部長
加納 秀 治	トヨタ自動車株式会社	鍛圧・焼結・樹脂成形技術室
小見山 忍	日本パーカラライジング株式会社	経営企画本部 スペシャリスト
菰田 保 司	株式会社メタルアート	未来創造・DX推進センター センター長
永富 一 成	株式会社ニチダイ	新事業開発部 課長
角南 不 二 夫	株式会社ヤマナカコーキン	ソリューション部
竹内 肇	伊藤機工株式会社	取締役社長
竹野 俊 夫	高度職業能力開発センター	素材・生産システム系 能開教授
中村 保	静岡大学	工学部 名誉教授
藤川 真 一 郎	日産自動車株式会社	パワートレイン技術企画部 シニアエキスパート
森 孝 信	森鉄工株式会社	代表取締役専務
山下 実	国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学	工学部 機械工学科 教授
結城 和 久	株式会社ゴーシュー	技術部 工程設計課 課長
吉田 佳 典	国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学	地域連携スマート金型技術研究センター センター長 工学部 機械工学科 機械コース 教授
岡島 琢 磨	大同特殊鋼株式会社 技術開発研究所	加工成形研究室 室長
吉川 亮 治	群馬精工株式会社	技術部 部長
山下 拓 郎	コマツ産機株式会社	開発本部 開発2部 本体グループ
首藤 彰 彦	大同特殊鋼株式会社 君津工場	工場長
松枝 隆 章	株式会社大谷機械製作所	検査課 課長
松本 将 生	トヨタ自動車株式会社	衣浦工場 鑄鍛造部 製造技術員室
渡辺 郁 雄	NPOテクノサポート	システムアナリスト

❖ 講義概要

科目1 鍛造概論

鍛造の歴史と現状、鍛造技術の世界的な動向の講義及び鍛造全般の経験談と事例討論によって、我が国 鍛造業界の中核人材にもとめられる「問題・課題解決能力」「ユーザーへの提案力」の能力の重要性を理解して、日常行っている鍛造関係の業務の位置づけを理解できるようにする。

科目2 鍛造品とその評価

自動車をはじめ、輸送用機器や土木建設機械、重電機産業、造船・産業機械、航空機などに使用されている代表的な鍛造品と鍛造品に要求される機能・品質、製造工程及び管理ポイントについて講義を行い、鍛造品の競争力と生産の品質管理について理解できるようにする。

科目3 鍛造用材料と熱処理

鍛造に使用される鉄鋼材料及び非鉄金属材料の概要、材料の鍛造特性と鍛造品の材質に関する原理について講義し、事例研究及び実証実験の組み合わせによって、原理を日常業務に応用する方法を紹介する。

科目4 加工力と面圧

各種鍛造法における鍛造に必要な加工力、面圧について講義し、工具やプレス機械の変形や熱が鍛造品、金型寿命におよぼす影響について学ぶ。

科目5 工具と潤滑

鍛造用金型材料の特徴と種類及び金型の構造と製造方法、鍛造における摩擦・潤滑・磨耗・表面損傷等のいわゆるトライボロジー現象の特徴とメカニズム及びそれらの評価を行うための摩擦試験の役割・種類・特徴、さらに潤滑剤の種類と金型表面処理について学ぶ。

科目6 鍛造設備

鍛造に使用されているハンマ、フォーマ、プレス機械をはじめ素材切断機、加熱装置や搬送装置等の構造について広く全般にわたり基礎知識を習得する。理論的な設計概念も紹介し、実際の運用に際し、利用するための技術に対する適応能力を養うことにより、鍛造設備全般に及ぶ知識の習得を行う。

科目7 熱間鍛造品の工程設計

熱間鍛造において競争力の高い鍛造品の効率的な生産方法を事例で考える。そして、重要工程である熱間工程について、ハンマ鍛造機、プレス鍛造機を用いた場合の熱間鍛造形状及び工程設計、競争力の高い熱間鍛造品を開発してきた先輩達の経験談を学習し、演習により、効率の高い生産のための熱間鍛造の設計技術を理解できるようにする。

科目8 鍛造及びCAE実習

これまでの経験や事例をもとに工程設計を行い、鍛造実習を通して工程設計技術の理解を深めると共に、コンピュータを利用した技術の知識と活用方法についての習得を行う。

科目9 精密鍛造と金型生産

冷間鍛造を中心とした精密鍛造金型は、複雑形状品のネットシェイプ化、難加工材の精密鍛造品へのニーズの高まり、海外進出に伴う自社内製作などの重要度は益々増している。本講座では、これらに対応する 技術習得を行う。

科目10 設備保全技術

設備保全を行う上で、ベテラン作業者が行う作業内容について、どのような方法で部下や後輩に人材育成を行うか、また、現場設備の設備保全を効率よく行う場合に必要となる作業手順書などの作成方法など実習を通して行う。

科目11 品質管理

品質には機能面、環境面、経済性、社会的など様々な要素から定義されるが、品物(サービスを含む)が使用目的を満たしているかどうかを決定するための評価の対象となる固有の性質、性能の全体である。これは「設計品質」と「製造品質(適合品質)」から構成されている。また、(総合的)品質管理は、「品質」という視点から経営管理を見つめ、経営課題を達成し、重要問題の解決をすることであり、企業活動における競争力の中核となる技術を高め、技術を活用し、魅力製品を創出するための活動でもある。

本科目では、品質管理の考え方、TQM(総合的品質管理)の考え方、問題解決の方法を講義、事例提示、演習などを通して理解させる。

科目12 工場管理

近年、ものづくりのグローバル展開が加速し、ユーザー産業界の生産移転、部品の海外調達が進んでいる。国内におけるものづくりの衰退が懸念される中、高機能な製品を低コスト、短納期、安定供給し、急激な需給の変化に迅速に対応できる体質づくりが急務である。

本科目では、工場管理者として、企業のモノづくりのあり方を探り、効率的な工場管理とそのポイントを理解してもらうとともに、工場管理において最も重要な事項のひとつである安全衛生について、より深い知識と認識を学ぶ。

科目13 工場経営とマーケティング

本科目では、講師の経営・営業体験を基に、経営に対する考え方を学ぶ。また慢性的な人手不足の中、デジタル技術を駆使した業務改革が求められる昨今、実務者が中心となって業務改革を進めるうえで押さえておくべき事柄の理解と、改革を進めるために必要となる業務問題分析技法を習得し、自社の競争力を高めるマネージャーを目指す。

鍛工品製造業実践型人材養成コース

普通職業訓練（短期課程） 鍛工品製造業科

鍛造全般に関する知識を習得したい方を対象

鍛造及び鍛造の技術全般の知識を身につけたい、深めたい方のための現場に直結したカリキュラムです。このスクーリングでは次頁に掲げる教科について講義、現場学習、グループ討議、プレゼンテーション、パネルディスカッションを行い、修了者には修了証を発行いたします。

受講資格	企業に属している方
定員	最少開講人数 12名
受講期間	令和6年5月から令和7年3月まで(1泊2日で10回、計106時間の講義)
受講費用	当協会会員 231,000円(税込)/名 非会員 346,500円(税込)/名 注1) 講義会場までの交通費、宿泊費、食事などは各自負担です。 注2) 受講を途中でやめられましても、返金いたしかねますのでご了承ください。
修了要件	① 欠席は原則として20日のうち4日まで。ただし、やむを得ない事情がある場合はその限りではない。 ② 遅刻と早退の場合、遅刻と早退の判断基準を30分とする。また、遅刻及び早退2回で欠席1回とする。

※受講申込ご案内は10頁をご覧ください。

講師名簿

氏名(50音順 敬称略)	会社名・学校名	所属・役職
朝比輝男	一般社団法人日本鍛造協会	研修教育委員会 委員
有馬達男	鍛造技術開発株式会社	代表取締役社長
奥原正夫	一般財団法人日本科学技術連盟	品質経営推進センター 技術顧問
小野宗憲	大同大学	名誉教授
加藤貴洋	株式会社イチタン	生産管理部 部長 兼 IT推進課長
田中慎二	日本製鋼所M&E株式会社	素形材製造部 部長
佐々木幸治	テクノメタル株式会社	技術士(金属部門)
首藤彰彦	大同特殊鋼株式会社 君津工場	工場長
鈴木達志	株式会社ジェイテクトコーティング	生産技術部
竹野俊夫	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度職業能力開発促進センター	素材・生産システム系 能開教授
戸田孝明	元 中央職業能力開発協会	
廣田智之	株式会社ヤマナカゴーキン	理事 マーケティング&カスタマーサクセス エキスパートチーム
藤村伸治	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 福島支部 福島職業能力開発促進センター	相談役



❖ 鍛工品製造業実践型人材養成コース日程(予定)

	月日	教科	内容	開催地
1	5月16日(木) 5月17日(金)	オリエンテーション(会長挨拶、自己紹介、他)		東京
		特別教科	・リーダー・管理者のための現場改善力向上(気づき力、伝達力、創造力)	
		教科1	鍛造の基礎知識 鍛造加工の種類と特徴/温度による鍛造の分類・鍛造業の概要(素形材産業における鍛造業、国内外の鍛造品生産量、等)/素材について(鋼材の分類、機械構造物材料に要求される機械的性質、鍛造品用材料の選び方、等)/鍛造の力学入門	
2	6月27日(木) 6月28日(金)	教科4	鍛造設備 ・鍛造設備の概要【鍛造機械】【周辺設備】	愛知
		現場学習	インターモールド名古屋 見学 ポートメッセなごや	
3	7月10日(水) 7月11日(木)	教科2	安全衛生 鍛造業における災害事例/ヒューマンエラー/ハットヒヤリトレーニング/法的責任/リスクアセスメント	東京
		教科3	品質管理 基礎から学ぶ品質管理 品質管理(QC)、総合的品質管理(TQM)/品質/QCのものの方、考え方/QC手法(Q7、N7、R7など)/品質保証(QA)、日常管理と方針管理/人材育成、継続的な改善、QCサークル/ISO	
4	8月8日(木) 8月9日(金)	教科5	型鍛造 型鍛造の概要/ハンマ鍛造/プレス鍛造/アプセッタ鍛造 型鍛造の自動化	調整中
		現場学習	調整中	
5	9月5日(木) 9月6日(金)	教科6	型設計 金型の概要(概要、材料、加工、表面処理) 型設計(設計、公差企画、工程設計、金型設計) 型寿命と型潤滑	東京
6	10月3日(木) 10月4日(金)	教科7	自由鍛造 鍛鋼品の品質とは/鍛鋼品の製造工程/製鋼の役割と鋼塊の性状/鍛錬効果/熱処理の役目	北海道
		現場学習	日本製鋼所M&E株式会社 室蘭製作所	
7	11月7日(木) 11月8日(金)	教科8	冷間鍛造 冷間鍛造の基礎/金型設計/工程設計と欠陥/鍛造設備	千葉
		教科9	検査 品質保証と検査/材料検査/試作時検査/自主検査/パトロール検査/出荷検査/金型検査	
		現場学習	株式会社ヤマナカゴーキン 東京工場	
8	12月4日(水) 12月5日(木)	教科12	設備保全 ・油圧、空気圧装置の構造や仕組みについて(損傷事例・事故事例の紹介、実習含む) ・設備のボルト・ナットの構造や仕組みについて(損傷事例・事故事例の紹介、実習含む)	千葉
9	1月30日(木) 1月31日(金)	教科10	熱処理 熱処理とは/熱処理の目的/鉄鋼について/鋼の組織と変態/基本的な熱処理/鋼の表面処理/熱処理設備/熱処理検査	愛知
		教科11	生産管理 生産を取り巻く環境/生産管理の概要/生産活動の流れと生産管理/需要予測/工程管理/生産計画/生産統制/在庫管理/かんぱん方式	
10	3月6日(木) 3月7日(金)	教科13	製図・図面の基礎知識 機械製図の基礎/線と文字/投影法/尺度・寸法記入法/寸法公差/幾何公差/表面性状/表面性状の図示方法/CAD製図	東京
		特別教科	・問題解決セミナー	
		グループ討議、プレゼンテーション		

※日程、講義時間及び開催地区については変更になる場合があります。予めご承知おきください。

※講義時間原則、1日目 11:00~18:00 2日目 9:00~16:00

	令和6年								令和7年	
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
認定訓練課程	添削指導(30問/月)								面接指導(スクーリング)◇ 修了時試験◎	

	講座科目		講座科目
6年5月	材料、材料切断及び熱処理	12月	法規、安全衛生、電気の基礎
6月	鍛造設備、機械、装置	7年1月	型鍛造全般(Ⅱ)
7月	型設計、金型製作・整備及び機械工作法	2月	面接指導(スクーリング)、修了時試験
8月	加熱、加熱装置、型潤滑	3月	(追試験) 認定訓練修了証の交付
9月	鍛造方案及び設備保全		
10月	型鍛造全般(Ⅰ)	9月	技能士検定(国家試験)実施公示 詳細は都道府県職業能力開発協会へお問い合わせください。
11月	製図、図面の基礎、品質管理、欠陥及び検査		

❖ 1級技能士コース面接指導 (スクーリング) 時間表 (予定)

時刻 令和7年	午前				昼休	午後				
	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
第1日 2月6日(木)						法規、安全衛生 13:30~15:30		製図、図面 15:30~17:30		
第2日 2月7日(金)	金型・機械工作法、機械・装置、電気 9:30~13:00					材料、熱処理 14:00~17:30				
第3日 2月20日(木)	プレス/ハンマ型鍛造法 9:30~13:00					鍛造方案、型潤滑剤、設備保全 14:00~17:30				
第4日 2月21日(金)	品質管理、欠陥及び検査 9:30~12:30					修了時試験 14:00~16:00				

❖ 2級技能士コース面接指導 (スクーリング) 時間表 (予定)

時刻 令和7年	午前				昼休	午後				
	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
第1日 2月6日(木)						製図、図面 13:30~15:30		法規、安全衛生 15:30~17:30		
第2日 2月7日(金)	材料、熱処理 9:30~13:00					機械工作法、金型、機械、装置、電気 14:00~17:30				
第3日 2月20日(木)	鍛造方案、型潤滑剤、設備保全 9:30~13:00					プレス/ハンマ型鍛造法 14:00~17:30				
第4日 2月21日(金)	品質管理、欠陥及び検査 9:30~12:30					修了時試験 14:00~16:00				

受講申込ご案内

申込締切

鍛造マネージャー育成塾コース…………… 令和 6年 3月15日(金)

鍛工品製造業実践型人材養成コース…………… 令和 6年 4月12日(金)

鍛造技術通信講座…………… 令和 6年 4月 5日(金)

申込方法

➤ お手数ですがコース毎の申込書を、メールまたはFAXにてご提出ください。

添付書類

鍛造マネージャー育成塾コース	受講申込書……………①
鍛工品製造業実践型人材養成コース	受講申込書……………②
鍛造技術通信講座	受講申込書「技能士コース」…③ 受講申込書「普通コース」…④ 参考図書購入申込書……………⑤

* 受講申込書(wordファイル)はホームページよりダウンロードできます。

助成金

鍛造マネージャー育成塾コース、鍛工品製造業実践型人材養成コース及び鍛造技術通信講座技能士コースの面接指導(スクーリング)部分は、下記助成金の対象となる場合があります。

詳細は、下記ホームページをご参照ください。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/pageL07.html 雇用調整助成金

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html 人材開発支援助成金

案内、申込書は当協会ホームページにも掲載しております。

申込先／問合せ先



一般社団法人日本鍛造協会 <https://www.jfa-tanzo.jp/>

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-9-2 本栄ビル 9F
TEL 03-5643-5321 FAX 03-3664-6470 e-mail : jinzai@jfa-tanzo.jp